

自分の考えをつくったり、再構成したりする、記録や報告、説明、批評などの、文章を書く活動（**自己内の活動①②**）

共通

言語活動を活性化するための**モデル**のポイント

結果だけでなく、過程（学び方）のモデルを

- ・まず、課題意識を明確にするために、作品や発表原稿、解などの**結果(ゴール)のモデル**を示すことが大切です。
- ・そして、結果のモデルだけでなく、調べたことをどのようにシートやノートに**整理して書くか(書き方)**、事実をどう**関連付けて書くか(関連付け方)**など、そこに至る**学び方のモデル**を示すことが大切です。

形式だけでなく内容のモデルを

- ・始めやつなぎ(接続)の言葉など**順序や形式面**で示す段階と、比較や関連付けなどの**内容面**を示す段階があります。それぞれ、発達段階に留意して、適切なモデルを示しましょう。
- ・特に、**説明、説得、批評など論理的な文章(表現)のモデル**が大切です。

モデルは既習のもので

- ・モデルを示す場合は、今学習している内容ではなく、**既習の内容**を使って示しましょう。

よくない例を比較させて

- ・モデルのよさや価値に気付かせるためには、例えば、論理的な文章と、そうでない文章を示し、比較させます。そして、論理的でない文章を改善させたりする活動を仕組むとよいでしょう。